

## 令和2年度 3年「現代文B」シラバス《国語》

1. 科目・単位・履修学年・区分  
現代文・2単位・3年・必修
2. 使用教科書・副教材
  - ① 精選現代文B 新訂版(大修館)      ② 新版三訂 カラー版 新国語便覧(第一学習)
  - ③ 大学入試現代文単語 Vocabulary550(いいずな)
3. 教科目標  
国語を的確に理解し適切に表現する力を養い、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を養う。近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
4. 授業方法・形態  
一斉授業、講義、作業、発表を中心とする。教科書を用いながら、適宜、副教材等を取り入れ、生徒の理解力、表現力を伸ばしていく。
5. 評価方法・形態  
定期考査(中間考査・期末考査・2学期実力考査)、臨時テスト、授業態度(音読・発表・発問回答)、課題提出物等を総合的に判断して行う。
6. 評価の観点・評価規準
  - A 話すこと  自分の考えをまとめたり深めたりし、目的や場面に応じて、筋道を立てて話し、聞き取る。
  - B 書くこと  自分の考えをまとめたり深めたりし、相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章を書く。
  - C 読むこと  自分の考えを深め発展させながら、目的に応じて様々な文章を的確に読みとる。

### 7. 授業計画

月	単元名	教材	領域			主な学習の目標 (評価規準)	学評価の観点					評価方法等	進度
			A話 すこ と・ 聞く こと	B書 く こ と	C読 む こ と		関 心 意 欲 態 度	話 す 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 理 解		
4	1 評論 (一) 倫理と 心理	・「贈り物」としての ノブレス・オブリージュ	2	1	5	・「ノブレス・オブリージュ」という言葉の本来の意味と、筆者の考えを的確に把握し、自分自身の問題としてとらえ直し、自己を見直す。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査	
		・こころは見える？			2	・発想の転換から導かれる論理展開を正確に理解する。 ・筆者の問題意識に対して自分自身に引きつけ、考えを深める。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査	
		・思考と表現6 文字に宿る「こころ」	1			・伝えたいことを効果的に表現するために、文字の大きさや書体など、視覚的な工夫の仕方を考える。	○		○	○	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・自己評価 ・相互評価	
5	2 小説	・赤い繭	1	1	4	・描かれた人物、情景、心	○	○		◎	○	・観察(発言・発表)	

	(一) 虚構と 象徴				情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。特に、反リアリズム小説の面白さを味わう。						・ノート ・定期考査	
		・美神		2	・登場人物の人物像、心情の推移を的確に把握する。 ・物語の展開を理解し、小説のおもしろさを味わう。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・感想文 ・定期考査	
6	3 評論 (二) 文化と美	・実体の美と状況の美		3	・「実体の美」と「状況の美」のそれぞれの特徴をたどりながら、日本人の美意識について考える。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査	
		・心に「海」を持って	2	1	4	・文章の構成や、段落相互の関係を読みとりながら、筆者の主張や内容をとらえる。特に、国際社会と日本とのかかわり方について考える。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
	4 随想 思いを 伝える	・昔の光		3	・筆者の感性に感応しながら、その発想や表現の特色を理解しつつ、格調高い文章をしっかりと読む姿勢を身につける。 ・随想の魅力を味わいながら、読み取ったことを参考に自分の考えを深める。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査	
7		・浄瑠璃寺の春		1	3	・時間や場所の変化にともなう「僕」の心の動きを捉え、文学的随想の世界を味わう。 ・文体の特徴や文学的随想らしい作品構成上の配慮に気づき、自ら表現する際の参考とする。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
	5 評論 (三) 社会を 担う	・政治を支える心構え	2	1	4	・文章の構成や展開を的確に捉え、政治を支える心構えについて考えながら、将来の社会を担う人間としての自覚をもつ。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
9		・「である」と「する」こと		4	・文章の構成や、段落相互の関係を読み取りながら、筆者の主張や内容をとらえる。 ・特に、日本の「近代」のあり方について考える。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・感想文 ・定期考査	

10	6 小説 (二) こころに 触れる	・檸檬		2	5	・登場人物の人物像、心情の推移を的確に把握する。 ・檸檬の描写、内的感覚をとらえ、表現を読み味わう。 ・詩的感受性・幻想性をとらえ、心理のドラマを通して美的真実について、考えを深める。	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・感想文 ・定期考査
		・待つ			2	・登場人物の複雑な心理を読み取り、作者が何を描こうとしたのかを考える。	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・紹介文 ・定期考査
	7 評論 (四) 言語と 世界	・人を指す言葉— 自称詞・対称詞・他 称詞			3	・日本語に関する論証の展開、結論を正しくとらえ、自称詞・対称詞・他称詞以外の人を指す言葉にも目を向けて日本語に対する興味を深める。	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・ワークシート ・定期考査
		・猫は後悔するか		2	4	・言葉と世界の成り立ちの関係を説く哲学的な課題を読み解き、抽象度の高い論理を理解する。	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・作文 ・定期考査
		・思考と表現7 移り変わる言葉		1		・言葉の意味や使い方が時代の変遷とともに変化することを理解し、自己や周囲の言葉の使い方について考える。	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・自己評価 ・相互評価
11	8 短歌・ 俳句 ことばを 味わう	・短歌 十三首			3	・短歌独特の表現を学習し、基本的な鑑賞の態度、方法を身につける。 ・歌人個々の特色を明らかにする。	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・暗唱 ・鑑賞文 ・定期考査
		・俳句 十五句			3	・俳句独特の表現を学習し、基本的な鑑賞の態度、方法を身につける。 ・俳人個々の特色を明らかにする。	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・暗唱 ・鑑賞文 ・定期考査
	9 評論 (五) 生命と 環境	・生物多様性の恩恵			3	・生物や自然から受けている恩恵と人間の技術とのかかわりを理解し、現代社会における問題について自分自身の考えをもつ。	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
12		・地球システムの中 の 人間	2	2	5	・文章の構成や、段落相互の関係を読みとりながら、筆者の主張や内容をとらえる。特に、生態系のとらえ方について理解し、	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査

					世界観、自然観などについて考えを深める。							
		・思考と表現8 環境を保護する工夫	1	1	・環境保護についての知識を深め、実際に行われている取り組みを調べる。	○	○	◎	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・自己評価 ・相互評価	
1	10 小説 (三) 名作を 読む (三)	・舞姫		2 9	・描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。特に、日本の近代と個人の生き方との関係について考える。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・感想文 ・定期考査	
2		思考と表現9 近代と翻訳	1		・明治期に翻訳語として用いられるようになった言葉が、現代でも日常的に使われていることをとらえる。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・自己評価 ・相互評価	
	11 評論 (六) 時間と 歴史	・無常ということ	1	5	・文章の構成や、段落相互の関係を読み取りながら、筆者の主張や内容をとらえる。特に、歴史や古典に言及した筆者の態度を検討し、現代人批判について考える。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査	
		・日本文化の三つの 時間		4	・日本文化における時間に関しての、筆者の考えを的確に理解し、ものの見方や考え方を深める。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査	